



すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴
22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

援農状況 *Let's Activate Area AGRI*

- ・9月の援農時間は1146.5時間(内10時間は無償)でした。
- ・援農依頼のあった農家は13軒、援農参加者は52人でした。
- ・夏だけの作業のブルーベリー収穫や食用桑の収穫は、上旬で終わりました。
- ・そのほかの作業内容は、草取り、草刈り、種まき(白菜、大根)、定植(白菜、キャベツ、にんにく)、ネットかけ、収穫と出荷作業(きゅうり、ナス、オクラ、ピーマン、モロヘイヤ、葉しょうが、小松菜)、稲刈り、ハウスの手入れ、片づけ(トマト、キュウリ)、ブルーベリー園のみのむし取り などでした。



第7回理事会開催 10月7日(日)18:00~20:30

台町市民センター 出席者:理事計7名 監事1名

※行事計画について(計画内容及び予算)

すずしろまつり

会員間のコミュニケーション強化を目的とする
簡易テント・のぼり旗の購入について検討(今後色々な行事に使用)

JA農業祭 広報活動を目的に展示する(展示内容・レイアウト)

すずしろ22のパンフレットについて協議・校正をした。

講演会(忘年会兼ねる)

会員の農業関連知識の習得及び会員間の懇親を目的とする。
会の名称を勉強会・懇親会に変更。飲食代の一部を会より補助する。

※富所農園の管理について

区画を明確にするロープや杭などの補修計画(予算等について)。

現状の問題点・改善点と運営方法について今後継続審議をする。

※会専用パソコン・プリンター購入の為に予算等を検討

援農・地産地消合同分科会開催9月29日・10月20日13:00~15:00

イベント情報

- ① 10月27日(土)9時~14時 **すずしろまつり(子供キャンプ場)**
- ② 11月10日(土)、11日(日) **JA農業祭に出店(富士森公園)**
- ③ 12月6日(木)15時~18時 **勉強会・懇親会(市役所食堂)**



新しく入会された方々

柏木征典さん(下恩方町)、川本弘昭さん(北野町)、佐藤恭子さん(桐田町)

援農体験記 『大地の恵みをいただいています』 八木町 小柳千奈美

5月に入会し、草取り、田植え、梅もぎ、種まき、収穫、トマトの定植~支柱結わえ...など様々な作業のお手伝いをさせて頂いています。初心者なのですが、農家の方や他の会員の皆さまに支えられ、楽しく作業が出来ています。感謝です。2,3週間前に蒔いた種が芽を出し、立派に成長し、みずみずしい青々とした葉を広げている姿を見ると、野菜の生命力を感じます。また、天候により生育が大きく左右されることも目の当たりにし、自然の神秘と偉大さを味わっています。

私にとっては時々の作業ですが、農家の方はこれが毎日。待たなして、休みもありません。私たちが食べ物をお口にするまでには、たくさんの時間と労力が費やされているのだと、改めて「いただきます」の意味をかみしめる毎日です。

土が好きです。これからもよろしくお願ひ致します。

事務局より

イベントが続きます。皆様一人でも多くご参加下さい、そして会員間の親睦や意思疎通を密に出来たらと、事務局及び理事一同願っています。

各イベントに向け援農分科会及び地産地消分科会の皆様は、より良いイベントにすべく頻りに会合を開いていただいています。紙面の関係上詳細は次号。

環境保全型農業への取り組み

小比企町 鈴木俊雄

20代から始めた環境保全型農業も随分長い年月となりました。農薬や化学肥料を使わないで良い農産物がどこまで出来るか、その挑戦は延々と続く長い道のりでした。それには、土中の微生物相の多様化を考えました。作物を枯らす病原菌なども、生育に良い菌が豊富にあれば、病状を表さないからです。それには多種多様な有機物を投入する事に行きつきました。その方法は畑を健全化させ、素直に生育する基本となりました。

他には、旬の野菜を中心とする作型です。どこの地方でも、昔から作られている作物やその旬の時期の栽培が、農薬の少ない時代の知恵でしょう。又見た目に完璧な、虫食いつない農産物を作る必要があるのでしょうか。食べるのに支障のない多少の虫食い野菜を容認する事も大切です。

そういった点を考えて栽培していますが、40年近くたった今でも、理想通りにはいきません。今では70%位の農産物は全くの無農薬ですが、残りは減農薬となっています。例えば、東京都のキャベツの標準農薬散布回数は15回になっていますが、我が家では4回程です。又、冬から早春にビニールハウスもありますが、農薬は極めて少なく済みます。光量の低下に対しては、100%太陽光を通過する被資材を使っています。これからも保全型農業に取り組んでいきます。